

報道関係各位

2017年11月9日

山林業務管理システム アクティオ「Forest Mobile」提供開始

～林業の働き方改革を支援！～

株式会社アクティオ

株式会社アクティオ(本社：東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO：小沼直人)は、2017年12月1日(金)から、山林現場で一般的なスマートフォンやタブレットなどのモバイルデバイスを活用し、日々の業務の進捗状況や作業員の日報管理などをデータで一元管理できるシステム、アクティオ「Forest Mobile」(フォレスト モバイル)のサービスを開始いたします。

■林業業界の現状

これまで林業業界の業務管理の現場は、作業員が広大な作業現場から会社に戻り、作業状況や日報などをホワイトボードやパソコンに記入または入力する方法が一般的で、会社までの長い移動時間やその後の入力作業といった効率化に関わる業務の課題がありました。また、管理監督者にとっては、リアルタイムで現場状況の把握ができないといった問題や、さらには一元管理した作業状況の即時集計データがないため、多くは自身の肌感覚や経験則による作業の進め方に頼らざるをえないといった現状があります。

■「自宅から現場へ、現場から自宅へ」働き方改革を支援！

今回、株式会社アクティオは、晃洋設計測量株式会社(本社：栃木県足利市、代表取締役：蓼沼恒男)、弦間林業有限会社(本社：山梨県笛吹市、代表取締役：弦間和仁)と協力し、業務効率の大幅な向上を実現するシステム、アクティオ「Forest Mobile」を開発しました。

作業員は、携帯した個人のデバイスから作業時間・機械稼働時間・出荷量・進捗率といった簡素化された日報を入力し、電波の届く場所であれば、どこでも送信でき、会社に戻る時間を省略することが可能になります。またKY(危険予知)活動の内容記入・活動写真も入力送信、日々の安全確認の徹底にも活用することができます。

また、管理監督者は、日報データをリアルタイムで受信できるため、作業の進捗を確認しながら、適切な判断と指示を作業員に伝え、現場全体から各個人の仕事量にいたるまで、従来の感覚的な現場管理から具体的な数字に基づくグラフやデータを活用した管理が可能となります。

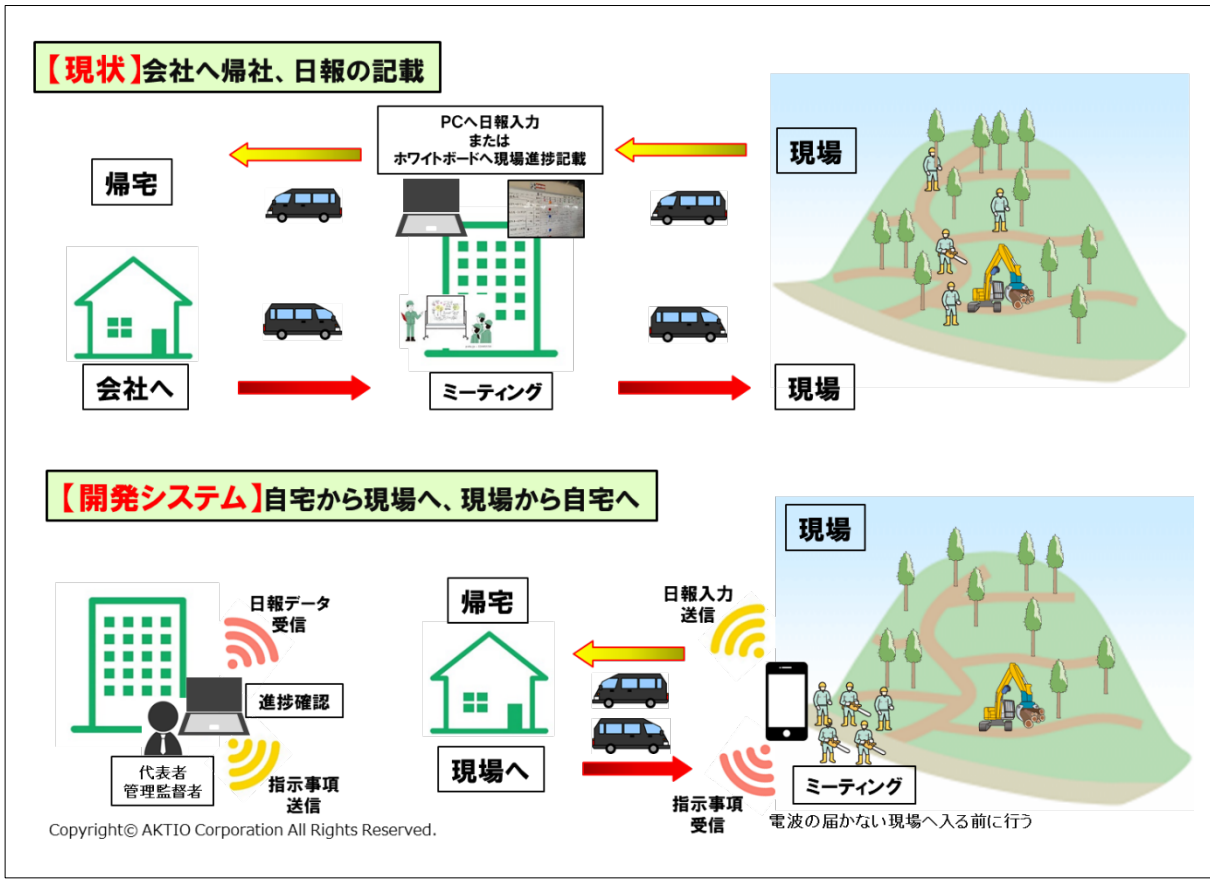
本システムは、システム販売を株式会社アクティオが、システム開発を晃洋設計測量株式会社が、開発アドバイザーとして弦間林業有限会社が開発に関わりました。

なお、本システムを11月19日(日)、20日(月)に開催される第41回全国育樹祭記念行事「2017森林・林業・環境機械・展示実演会」(主催：香川県、一般社団法人 林業機械化協会、会場：香川県坂出市「番の州臨海工業団地の県有地」)へ出展いたします。

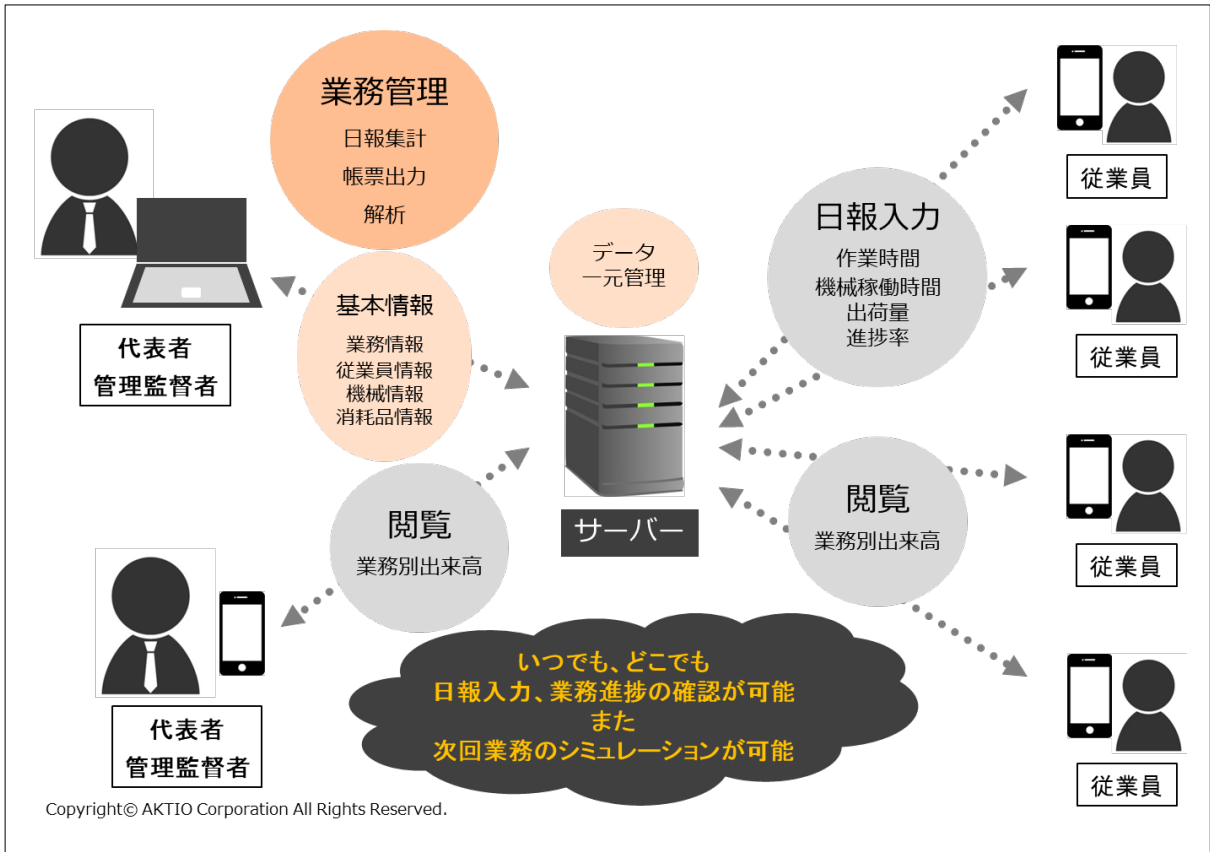
■特長「データの見える化」を実現

- ①データの一元管理が可能
- ②業務一覧から複数の現場管理が可能
 - ・検索機能、並び替え、集計、グラフ表示など
- ③個別業務管理が可能
 - ・業務内容の把握、日報入力、機械経費日報、搬出材日報、実行予算入力、グラフ表示など
- ④データ分析結果から人員配置の最適化、再検討が可能

■ サービスイメージ



■ 利用イメージ



■スマートフォン端末 画面イメージ



■動作環境

OS	動作環境 (ブラウザ)
Windows	Internet Explorer 11
	Microsoft Edge最新版
	Google Chrome最新版
mac	Safari 最新版
iPhone / iPad	Safari 最新版
Android	Android Chrome最新版

■サービス名

アクティオ「Forest Mobile」(フォレスト モバイル)

■サービス開始予定日

2017年12月1日(金)

■販売目標

今後1年間で50社~100社に導入目標

■ アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。

現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門

的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】[http:// www.aktio.co.jp/](http://www.aktio.co.jp/)

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

アクティオ広報事務局（共同ピーアール株式会社内） 担当：菊地、横山、吉田

TEL:03-3571-5238 FAX:03-3571-5380 e-mail : aktio-pr@kyodo-pr.co.jp